

## X線 TV 検査

当病院には、検査室が4部屋あり各部屋に1台ずつ装置が備えられており、それぞれの部屋で様々な検査を行っています。

X線 TV 装置は、X線を用いて体内の臓器などの透視や撮影を行う装置です。この装置で行われる検査には、バリウム等の造影剤を使った食道・胃・腸などを調べる消化器検査、脊椎や関節などを調べる整形外科の検査、腎臓から膀胱などの尿路系を調べる泌尿器科の検査などがあります。その他に、内視鏡とX線 TV 装置を併用して胆道系や大腸などを調べる消化器内科の検査や気管支を調べる呼吸器内科の検査なども行われております。

## 当病院で行われている主な検査

### ○ 透視・撮影検査 ○



#### ・食道・胃・十二指腸検査

食道や胃に造影剤を付着させて胃などの形態を透視、及び撮影を行っていく検査です。食道や胃は、バリウム等の造影剤を使用しないと評価が難しくなるため、造影剤と発泡剤(胃を膨らませる薬)を飲んでいただきます。

#### ・イレウスチューブ挿入

イレウスとは、腸管が閉塞し腸管内の物が肛門側への移動が障害される症状で、別名を腸閉塞といいます。この検査では、イレウスを治療する目的でチューブを挿入していきます。チューブの位置を確認するために透視や撮影を行っていきます。

#### ・骨透視および整復

腕の骨折などの場合、X線TV室で透視を行いながら骨折の整復や治癒の確認を行います。レントゲン写真と違い、リアルタイムで骨の状態を確認することが出来るため、X線TV室で行っています。



#### ・脊髓腔造影(ミエログラフィー)

脊髓腔の形状や交通性を診断するための検査です。腰椎の脊髓腔に造影剤を注入し、透視や撮影を行いながら検査が進められていきます。当病院ではこの検査の終了後、そのままCTの検査を行います。(画像3)

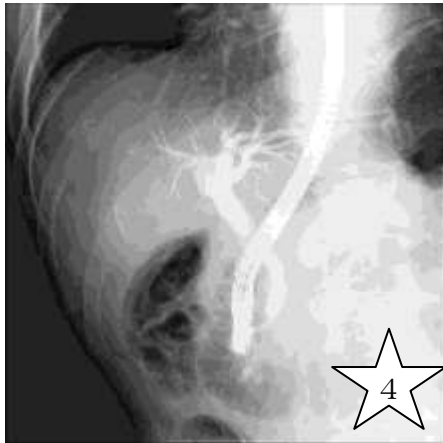
#### ・膀胱、尿道造影

尿道口から造影剤を入れ、膀胱、尿道の状態を確認する検査です。その後、きちんと排尿(おしっこ)できるか検査したり、尿道の狭くなったところを拡張したりするなど検査内容が変わっていきます。

## ○ 内視鏡併用検査 ○

### ・内視鏡的逆行性胆管膵管造影法(ERCP)

総胆管へ内視鏡を挿入していきます。内視鏡の先端からワイヤーやチューブを挿入することで、胆汁や膵液を採取したり、総胆管などで詰まった結石を除去したりしています。その他に、ステントなどを挿入して治療を行ったりもします。



### ・大腸内視鏡(CF)

内視鏡を肛門側から挿入し、内視鏡越しに大腸の中を観察していきます。そこから検査内容によっては、大腸の細胞を採取、ポリープなどの隆起性病変を切除するなど、それぞれ検査が変わっていきます。



## ○ 健康診断 ○

健康診断を受診するにあたって、胸部X線撮影や乳がん検診(マンモグラフィ)の他に胃がん健診を受けることもあります。



### ・胃バリウム健診

検査を始める前にバリウム(造影剤)と発泡剤(胃を膨らませる薬)を飲んでいただき、胃の壁や形態などを撮影していきます。

